



THE HIROSAKI UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

弘前大学附属図書館報 No.44 2016.11

目次	
巻頭言	2
特集 第2回 POP コンテスト	3
本との出会いを楽しむ<17回>	7
図書館に関する話題<17回>	8
Library News	10
本学教員等著作寄贈図書・資料一覧	11



分館長を拝命して

附属図書館医学部分館長 今泉 忠淳

平成 28 年（2016 年）7 月 1 日付けで、弘前大学附属図書館医学部分館長を拝命しました、医学研究科脳血管病態学講座の今泉忠淳です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、昭和 54 年に弘前大学医学部進学課程に入学し、昭和 56 年に医学部専門課程に進みました。医学部生時代には、医学部分館を主に試験のための勉強の場としてよく利用させていただきました。2 年間の臨床研修医を修了してから入学した医学研究科大学院生時代には、まだインターネットや電子ジャーナルが無い時代でしたから、文献の調査や収集で大変お世話になりました。博士号取得後の 5 年間の留学から帰国してからは、文献検索はインターネット経由で行うことが多くなりましたが、実験・研究の合間に、主に新聞を読み医学部分館にお邪魔してきました。最近では、種々の委員会や弘前大学出版会の業務など、自分が専門としている教育研究分野以外の仕事や、原稿を書かなくてはならないことも増えてきて、参考資料を探しに、医学部分館の書棚へ出掛けることもあります。また、会議と会議の合間とか、実験の反応を待つ間とか、たまたまできた空き時間に、目的もなく分館へ行くこともあります。事務の方々には、「何しに来たのだろうか？」と思われるかもしれませんが、館内の本や雑誌、資料を適当に眺めたりしています。

医学分館の書棚を眺めてみると、大量の医学・保健学の専門書や専門雑誌があることはもちろんですが、その他にも、様々な図譜、山崎豊子氏の「白い巨塔」などの小説、手塚治虫氏の「ブラックジャック」や山田貴敏氏の「Dr. コトー診療所」などのコミック、世界美術全集などもあります。また、医学部分館の階段や自修室には、油絵や色紙なども展示してあります(写真)。私にとっては、

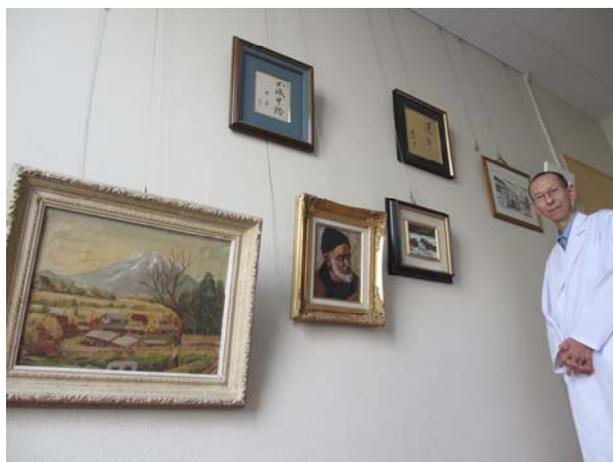
医学部分館は、「へこんだ時」などに、貴重なリフレッシュ、あるいは癒しの空間にもなっています。

という訳で、医学部分館には、30 年以上にわたってお世話になって参りました。今回、医学部分館長を拝命して、少しでも、これまでの恩返しができればと思っております。

私自身は、時々医学部分館にお邪魔しておりますが、試験の前に学生の皆さんが自習に来ている時期を除くと、たいていは閑散としています。これだけの知的な財産の宝庫である医学部分館があまり活用されていないのは、実にもったいないことです。学生さんも、教職員の皆さんも、日々ご多用とは思いますが、時にはインターネットを離れて、月に一度、週に一度でも、医学部分館の書棚を覗いてみませんか？資料や文献に、アナログなアプローチをすることも、デジタルなアプローチとは違ったヒントが得られたり、アイデアが浮かんだりすることもあると思います。

医学部分館が、みなさんに、もっと活用される場となればいいなと思っていますので、ご意見やアイデアがあればお寄せください。

(いまいづみ ただあつ)



1 階から 2 階に続く階段にて

第2回POPコンテスト



中根館長（前列左）、サンライズ産業(株)工藤代表取締役（前列右）、尾崎参与（後列右）と受賞者

弘前大学附属図書館では、昨年度に続き、図書館の利用促進や読書推進を目的とした第2回POPコンテストを開催いたしました。今年度は、当館にご寄附をいただいておりますサンライズ産業株式会社様からのご支援により、サンライズ産業(株)賞を新設するとともに、副賞の金額を増額しました。

5月23日（月）～7月29日（金）の応募期間に24点のPOP応募があり、作品は全て該当図書と共に館内特設ブースに展示されました。そして、一般利用者を含む図書館利用者からの投票、および学内利用者による専用投票Webページからの投票によって、全6作品の入賞が決定しました。

表彰式は11月11日（金）に附属図書館本館にて行われ、それぞれの受賞者に中根館長から表彰状が手渡されました。大賞は個性的なデザインで『スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン』（カーマイン・ガロ著）の魅力を伝えた人文社会科学部1年・佐々木伊吹さん、優秀賞は目を引く配色のPOPで『嫌われる勇気』（岸見一郎、古賀史健著）を紹介した人文学部3年・澤田悠祐さんが受賞しました。その他3名の方が、それぞれ工夫をこらしたPOPで佳作を受賞しました。

サンライズ産業(株)賞は、津軽地方と猫の魅力を伝えた『ふるさとのねこ』（岩合光昭著）のPOPを作成した教育学部3年・奥寺桜子さんが受賞し、サンライズ産業(株)・工藤代表取締役から表彰状が手渡されました。

受賞者からは、「この本はプレゼンの技術が書いてあるだけでなく、人に自分の話を上手く伝える方法が書いてあり、とても良い本。この本の魅力をどうすれば伝えられるか考えながら、POPをつくった」（佐々木伊吹さん）、「四季のはっきりしている津軽地方の魅力を、猫の姿を通して伝えてくれる本なので、猫と青森県がじゃれあっているPOPにした」（奥寺桜子さん）などのコメントをいただきました。

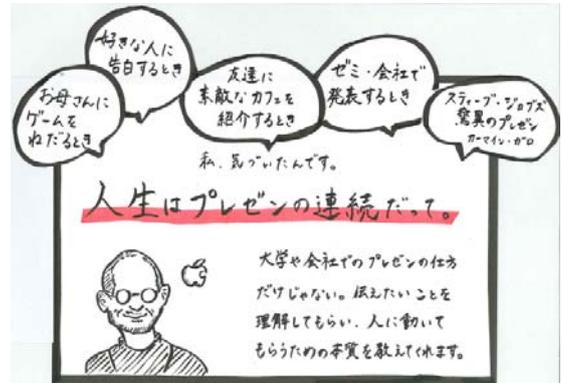
大 賞

人文社会科学部 1年 佐々木 伊吹さん
『スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン』

まず始めに、大賞をいただけてとても嬉しいです。アドバイスをくださった方、投票してくださった方々、主催の附属図書館関係者の方々、協賛企業の方々、本当にありがとうございました。

突然ですが、POP コンテストに応募したきっかけは、ポスターをみてこんな機会なかなかない！チャレンジせねば！と思ったことです（賞品がきっかけの一つであったことは秘密にしておきます）。私はPOPをつくるのは初めてで、たくさん悩みました。どうしたらこの本の魅力が最大限に引き出されるだろう、どうすれば私の伝えたいことが伝わるだろう、絵を描くのは苦手だなあ、目を引くには何をしたらよいだろうか、とにかく色々なことを考えました。『スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン』という本ですが、（もちろん）プレゼンのテクニックが書かれていて、厚みがあって、いかにもHow to本って感じがして、手に取りにくいと感じる人もいると思います。だからこそ、日常でも使えることがたくさん書いてあるよアピールをした吹き出しをつけ、筆ペンによって堅くない感じを出し、POPだけにポップなデザインに仕上げました。

今回、POP コンテストに参加したことでたくさんのことを学ぶことができました。重ねてお礼申し上げます。



優 秀 賞

人文学部 3年 澤田 悠祐さん
『嫌われる勇気』

岸見 一郎著『嫌われる勇気——自己啓発の源流「アドラー」の教え』が私の考えの根底を揺さぶり、今の価値観を形成する土台となった本でした。その本を読んで受けた衝撃を他の人にも共有したいという気持ちが、私がPOP コンテストに応募しようと思った動機となります。

この本の見どころは、トラウマなんか存在しないと言い切って、対人関係の悩みから解放するものの考え方で。私は今まで本を人並みに読んできましたが、読んでいて頭がビリビリするような感覚は初めてでした。

実際にPOPを描くときには、インターネットで調べてキラキラしていたり、ポップな感じのものを沢山参考にしていましたが、この本から受けた私の衝撃はそのようなキュートなものではなかったの、あえてペンやイラストを使わずにパソコンのPowerPointでPOPを作成したのです。頭をガンッと殴られてビリビリするような感覚を本で味わった、そのような感覚を赤の混じった黒を使うなど、色合いで表現しました。このように、読んだときのインパクトを重視して描いたPOPですが、弘前大学の学生にはぜひ読んで、自身の考え方と比較してほしいと思っています。



サンライズ
産業(株)賞

教育学部3年 奥寺 桜子さん
『ふるさとのねこ』

昨年開催された第一回目の POP コンテストに参加した際に、本の魅力を形にする楽しさが、自己の中にあっただため、今回も応募しようと思いました。

『ふるさとのねこ』はねこの写真集となっています。「ふるさと」の舞台は、弘前を含む青森県の津軽地方です。津軽地方の自然や人々と、そこに暮らすねこ達との関わり合いを写真家・岩合さんが撮影したことで、津軽とねこの魅力がどちらも引き出されています。

そのため、POP には青森県をかたどった画用紙を用い、その背景には、私が弘前に住み、身近に感じている自然の1つである「桜」や「リンゴ」の絵を描きました。そこに、ふるさととねこの関わりを表現すべく、津軽地方にねこが抱きついている絵をプラスしました。作成過程の際には、写真集ならば見ていただくのが一番だと思っていたので、魅力を文字や絵で表現することが難しく感じました。その結果、あまり多くを語らず「ふるさと」と「ねこ」を全面的に押し出しました。

以前の、本を読んで、また、POP を作って楽しいという気持ちだけでなく、本の魅力の表現・伝え方など、受け手のことを考えることができるようになり、自身にとってプラスの経験となりました。私のPOP を見てくださった方々、企画運営に携わられた図書館の方々、サンライズ産業(株)の方々に感謝します。是非、第三回目も開催していただきたいです。



佳 作

教育学部3年 菅澤 なつきさん
『猫の古典文学誌 鈴の音が聞こえる』

この度は、『猫の古典文学誌 鈴の音が聞こえる』で佳作賞をいただけたこと、とても嬉しく思います。投票してくださった方々、ありがとうございました。

猫が登場する物語や文学は多く存在しますが、それらをまとめ、紹介する本に出会ったことがありませんでした。この本を見つけた時、すぐ手に取りました。これまで猫が登場した文学から見えてくる人と猫との結びつきについて、筆者である田中貴子さんは丁寧に、そしておもしろく紹介してくれています。読めば読むほど、可愛い猫が頭の中に現れてきます。

POP に描いた猫は、気持ちよさそうにまったりした様子にしました。また、招き猫のモデルとしてよく使用される三毛猫にし、和の雰囲気を漂わせました。タイトルにはきっちりとした堅い書式ではなく、猫らしく無駄な力が入っていないような書式にし、三毛猫の絵と合わせました。通りすぎる人の目にも留まるPOP にしたいと考え、全体をシンプルにし、三毛猫を大きく描きました。

人に見てもらおうことを意識して作成し、自分の納得のいく POP を完成させることができました。私のPOP が佳作賞という形で評価していただけたことが本当に嬉しく、応募をしてよかったと感じました。



佳作

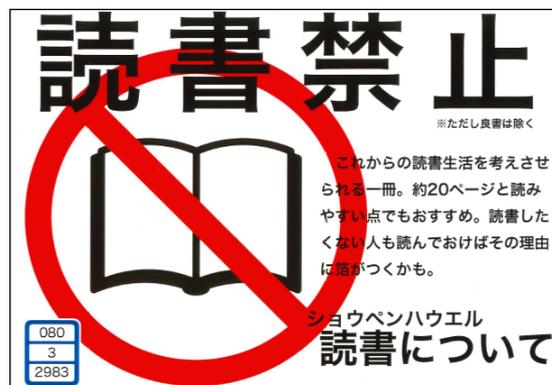
理工学部3年 山本 健太郎さん
『読書について』

昨年に引き続き、佳作を受賞することができて嬉しく思う。図書館に『読書禁止』という札が掲げてあったら面白いかなと思いきョウペンハウエルの『読書について』を選びこのようなPOPにしたわけであるが、好評のようで何よりである。

さて、本を読むなど本に書いてあるならば、それは矛盾していないだろうか。そもそも物書きが本を読むなんて言うのはおかしいのではないだろうか。もちろん単純に本を読むなど書いてあるわけではない。『読むべき本』はどんどん読むべきだ。面白さを優先に恣意的に『読書禁止』と取り上げただけである。ありがたいことにこのPOPを見てこの本を読んでもくれた後に私の読解力を批判されても困るのでここに弁明しておく。

結局のところ、なぜ読書をするのだろうか。暇つぶしなら暇つぶしでも構わないしそれは自由だ。しかしながら大学生が行うべき読書は知識を得、自ら新たな理論を構築するために行うものであろう。この本はそれに気づかせてくれる『読むべき本』である。

最後に、私のPOPを見てくださった方々、おすすめの本を紹介してくださったPOPコンテストの参加者の方々、企画運営に携わられた図書館の方々、協賛のサンライズ産業株式会社様に深く感謝する。



佳作

教育学部2年 小野 真由さん
『印象派はこうして世界を征服した』

この本は、印象派とそれを売買する富裕層や競売人との結びつきや、印象派誕生時は人々から非難を受けていたのにも関わらず、どうやって現在の地位を手に入れることができたのかなど、美術作品の競売人である筆者が美術史の舞台裏とともに解き明かしていくというものです。

私は元々印象派が好きということもあって、今まで印象派関連の本は読んできましたが、POPコンテストが開催されることを知り、この機会に図書館にある印象派の本も読んでみようと思い応募に至りました。

『印象派はこうして世界を征服した』という、意味ありげでインパクトのあるタイトルを生かし、行く人の目を引きつけるようなデザインになるよう意識して制作しました。今回他の応募作品から学ぶことも多々あり、もっとデザインや印象派について、技術と知識を身につけていきたいと感じました。

このPOPを見て、「美術」と聞くだけで少し後ずさりしてしまう方にも読んで頂ければ幸いです。印象派好きやそうでない方、経済や世界史に興味がある方も楽しめる1冊だと思います。是非読んでみてください。

最後に、佳作を受賞できたこととても嬉しく思います。主催してくださった図書館の方々、POPを見て興味を持ってくれた方、投票してくれた方、ありがとうございました。



本との出会いを楽しむ 第17回

佐野洋子作『うまれてきた子ども』を読んで

国際連携本部 准教授 サワダ・ハンナ・ジョイ



私は毎年弘前大学で「日本の絵本の世界」と題した科目を開講しています。英語と日本語の二ヶ国語で行うこの授業では、さまざまな国から来日した留学生と日本人学生と一緒に日本の絵本作家の作品について考えます。最初は絵本が幼い子どものための読み物だと思い込んでいる学生が多いようですが、多様な作品を読み解くにつれ自分の体験と重なる物語と出会い、生き方のヒントを発見するケースは少なくありません。外国での暮らしを初めて体験している留学生が特に注目するのは佐野洋子の作品。ここでその中から一冊を紹介させていただきます。

『うまれてきた子ども』の主人公は、生まれなかつたから生まれなかつた子どもです。生まれなかつたから宇宙をさまよっています。ある日、この子どもは地球にやってきました。しかし地球でライオンに吼えられても怖くありませんし蚊に刺されてもかゆくありません。パン屋さんからパンのにおいがしても食べたくありません。子どもは生まれていないから関係ないのです。けれどもある日、子どもが町の広場に座って関係ないものをながめていたら、小さな女の子が犬にかまれるのを目撃します。「いたいよう」とわめく女の子はお母さんに薬をつけてもらい、ばんそうこうを貼ってもらいます。それを見た生まれなかつた子どもは突然同じようにばんそうこうを貼ってもらいた

くなり、「おかあさん」と叫びながら生まれてきます。その後、パンのにおいをかいだ子どもはむしゃむしゃ食べて、蚊に刺されるとかゆくなり、ばんそうこうを貼ってもらいます。夜になると「ぼくねるよ。うまれているのくたびれるんだ」といってお母さんにおやすみのキスをもらい、ぐっすり眠ります。

この『うまれてきた子ども』の話は異文化体験と重なり合う側面がいくつもあります。母国を離れて暮らすと再び「生まれてくる」ことを強いられます。新しい言語を学ぶことは生まれたばかりの自分にもどって一から言葉を覚えることです。慣れない食べ物を口にし、時には大変痛い思いをすることもあります。生まれてこなかつた子どものように周りの人間を観察し、「自分は関係ない」と思っている方がよほど楽な場合が多々あります。しかし痛い思いをしない限り「ばんそうこう」すなわち他者とのつながりを体験することはできません。この絵本は新しい体験にとまどうものの背中をやさしく押してくれます。生まれてくること、すなわち自分の慣れた環境や領域を離れて世界とかかわりをもつことは、実に「くたびれる」ことです。しかしそこにはかけがえのない発見や出会いが待っているのです。是非『うまれてきた子ども』をご一読ください。

(サワダ ハンナ ジョイ)

当館では、残念ながら佐野洋子氏の絵本は所蔵しておりませんが、他の絵本はいくらか所蔵しています。いろいろ読み比べてみてはいかがでしょうか。ページ数が少ないので、気軽に読めるところも魅力です。絵本の分類番号は 726.6 です。開架より、書庫の方に多く置いてあります。

また、絵本論の分類番号は、019.5 となっています。こちらもどうぞ。

図書館に関する話題 第17回

図書館資料の選定・受入について

附属図書館資料管理グループ係長 佐々木 忠

図書館の資料が、どのような手続きを経て選定・受入しているのか紹介します。選定・受入に当たっては大まかに下記の選定方法で実施しています。

なお、本町地区にある医学部分館では、別の選定方法で実施しています。

【図書選定委員会】

学部から推薦された教員で構成されていて、年度初めに図書館で購入する図書の基本方針を決定します。主に下記の図書について選定しています。

1. 教育・学生支援図書 年2回（8・11月）各学部を選定を依頼
2. 継続図書 定期的に刊行される図書・全集（岩波文庫・中公新書など）で発行の都度購入
3. 利用者希望図書 図書館利用者の希望に基づき購入 一人年間5冊まで、1冊の購入金額が2万円まで

【教育研究基盤経費資料整備5ヶ年計画】

昨年度（平成27年度）から教育・研究内容に密接した資料の充実を計るために「教育研究基盤経費資料整備5ヶ年計画」を策定し、資料を購入しています。

昨年度は、アクティブラーニング（能動的学習）を強化するために、電子書籍を整備しました。主な資料は、

- 「Maruzen e-book Library」 (約900タイトル)
- 「化学書資料館」 (化学便覧・実験化学講座等が利用可能)
- 「メディカルオンライン e-books」 (約2200タイトル)

いずれも図書館のホームページから利用可能です。

今年度は、学部改組した学部学科が多くあったことから関連する資料を整備することになり、改組に伴い新たに採用された教員に選定を依頼し、資料を購入しています。

この計画による資料選定は、平成30年度まで継続される予定です。

【サンライズ産業(株)寄贈図書・雑誌】

昨年度、弘前市に本社がある総合物流業「サンライズ産業株式会社」様より、今後10年間継続して図書資料充実のために寄付をいただきました。図書館では、この寄付金をもとに次の資料を整備することとしております。

- (1) 青森を対象とした課題解決に役立つ資料
- (2) 青森の行政・歴史・文化・芸術などの学習を支援する資料
- (3) キャリア形成・キャリアデザインに役立つ資料

- (4) 県内就職（留学生を含む）を支援する資料
- (5) 郷土出身人物に関する資料
- (6) 総合的にアプローチできる文理融合教育を支援する資料
- (7) グローバルな人間形成に役立つ資料

購入した図書は、一時的に図書館内2階アクティブ・ラーニング・エリア内にある「サンライズ産業(株) 寄贈図書コーナー」に配架し、その後所定の場所（2F 開架図書等）に配架します。

【寄贈図書】

寄贈図書は、1. 本学教員が大学を退職する時やその後に資料を寄贈 2. 著者や出版社からの寄贈があります。この中から「寄贈図書取扱要項」をもとに寄贈図書を受け入れるか決定します。寄贈された図書は、図書の標題紙裏に寄贈者名が記載されております。

過去5年間の図書館での受入冊数

(冊数)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
図書選定委員会	教育・学生支援図書	1,384	1,313	1,101	1,251	176
	継続図書	454	452	456	431	205
	利用者希望図書	50	15	53	124	32
教育研究基盤経費						404
サンライズ産業						202
その他		3,109	0	0	0	0
購入合計		4,997	1,780	1,610	1,806	1,019
寄贈図書		2,596	3,410	1,652	1,896	1,610
総合計		7,593	5,190	3,262	3,702	2,629

[平成28年度は11月4日現在]

(ささき ただし)

医学部分館での選定方式について

医学部分館では、医学科分と保健学科分で選定方法が異なります。配架場所も別々になっており、医学科分は分館の2階フロアに、保健学科分は書庫の5層に置かれます。

図書館の予算で購入する図書については、医学科と保健学科の学生の人数比で予算を分け、医学科分は医学科学生の自治会に、保健学科は保健学科図書委員会の担当教員の先生方に、選定をお願いしています。

分館内すべての図書館資料が図書館の予算で購入されている訳ではなく、それぞれの学科で持っている予算でも図書・雑誌を購入し、分館内に配架しています。医学科と保健学科にはそれぞれ図書委員会があり、各研究科の予算での購入図書・雑誌は委員会で購入を決定する形になります。

また、医学部分館も本館同様、希望図書を受け付けていますので、ぜひご利用ください。申し込み方法は、申込書をカウンターに提出、またはメールで担当係に送付します。なお、希望図書は申込者の所属学部にかかわらず、申し込んだ先の図書館に配架されます。

Library News

第3回ライブラリカフェを開催

10月27日(木)、第3回ライブラリカフェが附属図書館2階オープンラウンジにて開催されました。今回のゲストスピーカーは医学研究科皮膚科准教授の中野創先生で、テーマは「肌の健康」です。

第1回・第2回のライブラリカフェは、先生と学生数名とのトークでしたが、今回は先生+学生2名+大学職員3名+大学生協職員1名の構成でした。お肌について訊きたいことがある、という参加者を募ったところ、先生以外は全員女性になりました。

まず、最初に各人の自己紹介、そして中野先生から皮膚についての一般的な説明があり、その後3つのトピックについて話し合いました。トピックの内容は、「紫外線と肌」、「ストレスと肌」、「食生活と肌」です。いずれも身近でかつ具体的なお話でした。専門用語はなるべく使わないようにする、とのお言葉どおり、中野先生は参加者からの質問に、わかりやすくユーモアを交えてお話してくださり、会場は終始なごやかな空気に包まれていました。トークに参加した方々だけでなく、一般の参加者からもいくつか質問があり、肌の健康というのは、性別年齢にかかわらず、普遍的なテーマであることを再認識いたしました。

今回、初めて参加された大学生協職員、佐々木香菜さんにライブラリカフェの感想を伺いました。

Q 大学生協での仕事内容は？

現在は大学会館内の生協店舗であるシェリア店に配属しており、担当業務は店舗の書籍全般（主に理工書）、新学期では教科書事業の担当をしております。その他、お店の催事（七夕まつりや生協まつり）の企画を学生と一緒に考えて実行しています。

Q 参加のきっかけは？

附属図書館参考調査担当の本多さんにお声がけいただき、参加する運びとなりました。本多さんとは、弘前大学生協で定期的に行っている「大学教職員インタビュー」にお願いした際に知り合いました。（その他にも、附属図書館の方々や大学生協のTwitter間でもやりとりがあり、Twitterオフ会でも交流することもありました。）テーマが「肌」ということで、個人的にも興味がある内容でしたのでお声がけいただき嬉しく思いました。

Q 中野先生に訊きたかったこと

中野先生には「肌への食品の影響」を質問することにしていました（私は大学時代に栄養学を専攻していたので食生活に関することに関心があったので）。バランスよく食べることは大切ですが、肌にとって最も必要なことは何かと伺ったところ、「野菜を積極的に摂ること」でした。多くの肌のケア用品が出ている中、シンプルなことですが食事からの改善、野菜を食事に取り入れることの重要性を改めて実感しました。

Q 他の方の質問や先生の話で印象に残ったこと

学生さんの質問の中で、事前にシワができる仕組みについてよく勉強されていたことに驚きました。普段何気なく浴びている紫外線についてしっかり対策をしないといけないと考えた次第です。

余談ですが話の中で、美肌に近づける食材で料理が完成していった展開になったのが面白かったです。コーラゲンボール、牡蠣、野菜たっぷりのレシピ…。こちらは先生が冗談でお話しされていましたが、生放送にも関わらず、和やかな雰囲気でお話しすることができました。

Q 参加しての感想

生協職員として初参加することができ、非常に楽しく学ぶことができました。学生時代は、学ぶことが当たり前（誰かに知識を教えてもらうこと）の習慣だったのですが、社会人になると知る・学ぶ機会が少なくなっているような気がします。

こういった貴重な機会を多くの弘大生や職員、地域の方々に広まると、ライブラリカフェの取り組みが盛り上がるのではないのでしょうか。本当にありがとうございました。



中野准教授（一番左）と出演者の皆さん（佐々木さんは右から2人目）

カフェの様子は、第1回・第2回同様リアルタイムで動画配信を行いました。その後編集したものがYouTubeに改めてUPされました。YouTubeの動画には図書館HPからもリンクが貼られていますので、お肌に関心のある方はぜひご視聴ください。

本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書と資料の一覧

平成28年4月～平成28年9月分受贈分

学部名	寄贈者名	書名	発行所	数	所蔵先
人文社会 科学部	渡辺 麻里子	天台・真言諸宗論攷	山喜房佛書林	1	本館 1
		東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩古典籍調査集録 第2集	弘前藩藩校資料 調査プロジェクト チーム	1	本館 1
	中村武司	新しく学ぶ西洋の歴史	ミネルヴァ書房	1	本館 1
	関根達人	弘前市革秀寺・長勝寺津軽家霊屋内部調査報告書	弘前大学人文学 部文化財論研究 室	1	本館 1
		モノから見たアイヌ文化史	吉川弘文館	1	本館 1

	保田宗良	青森県地域の消費者問題の考察	小野印刷	1	本館 1
	南修平	アメリカを創る男たち	名古屋大学出版会	1	本館 1
教育学部	附属 小学校	共に学ぶ：アクティブ・ラーニングの視点を生かした授業	東洋館出版社	2	本館 2
医学研究科	福田幾夫	心筋保護法標準テキストブック	文光堂	1	分館 1
		弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座 (旧第一外科)開講 70 周年記念誌	辛夷会	1	分館 1
白神自然 環境研究所	中村剛之	脈翅目群, 長翅目, 隠翅目, 毛翅目, 撚翅目	権歌書房	1	本館 1
鵬桜会	當間茂樹	Buttonhole cannulation	S.Karger	1	分館 1
名誉教授	松木明知	日本麻酔科学史の知られざるエピソード 戦前篇	真興交易(株) 医書出版部	2	本館 1 分館 1
	木村博人	木村博人教授退任記念研究業績集	弘前大学大学院 医学研究科歯科 口腔外科学講座	2	本館 1 分館 1
弘前大学出版会		植物細胞壁実験法	弘前大学出版会	2	本館 2
		たちあがるのだ	弘前大学出版会	2	本館 2
		地方都市とローカリティ	弘前大学出版会	2	本館 2
		The 3rd International Symposium	弘前大学出版会	2	本館 2
		基礎物理学実験	弘前大学出版会	3	本館 2 分館 1
		知能機械工学実験・実習テキスト A 平成 28 年度版	弘前大学出版会	3	本館 2 分館 1
		知能機械工学実験・実習テキスト B 平成 28 年度版	弘前大学出版会	3	本館 2 分館 1
		メディア・リテラシー教育と出会う	弘前大学出版会	3	本館 2 分館 1
元教員	田中岩男	『ファウスト』研究序説	鳥影社・ロゴス 企画	1	本館 1
	宇佐美 真一	難聴の遺伝子診断とその社会的貢献	金原出版	2	分館 2
		難聴の遺伝子診断ケーススタディ集	金原出版	2	分館 2



弘前大学附属図書館報「豊泉」第 4 4 号 発行日：平成 28 年 1 1 月 3 0 日

編集／弘前大学附属図書館広報委員会

発行／弘前大学附属図書館 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1

TEL 0172(39)3162 FAX 0172(39)3171 URL <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>

標題の「豊泉」は、明治 9 年の「仏国学制」付録上巻中の「人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」の文に基づき、
松原邦明名誉教授命名 題字：藤原楚水編「書道六體大字典」（三省堂）より